

臨時レポート

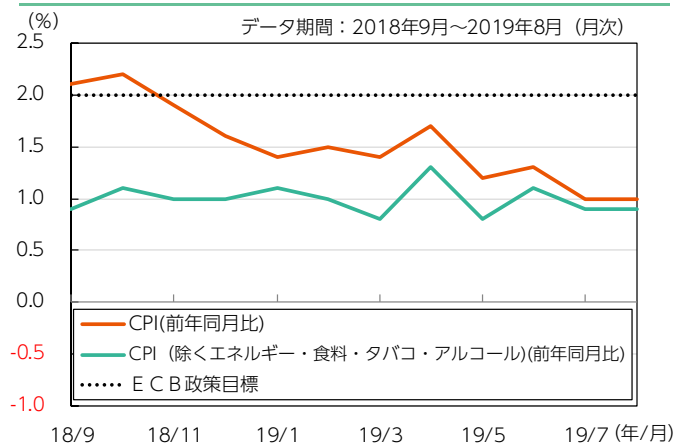
# ECB理事会 預金ファシリティ金利を引き下げ

## フォワードガイダンスを修正し、更なる緩和姿勢を示す

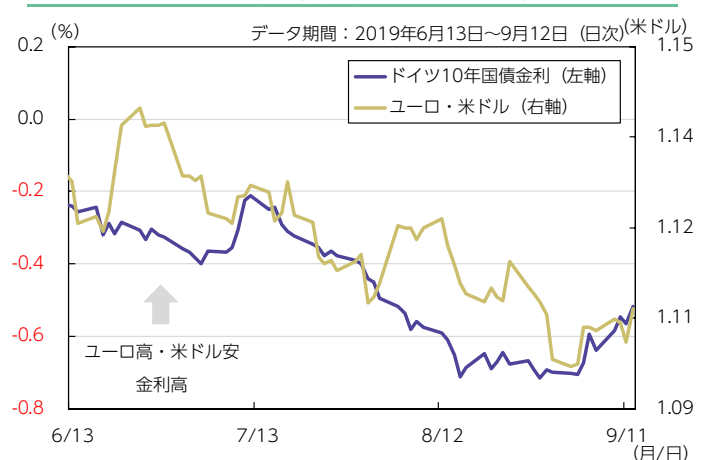
- ▶ 欧州中央銀行(ECB)は主要政策金利を据え置いたものの、政策金利の1つである預金ファシリティ金利を引き下げた。併せて資産購入など量的緩和の再開も公表。
- ▶ ドラギ総裁の「財政政策が主要な手段となるべき」との発言から金融政策効果の限界が意識された。

- ECBは9月12日の定例理事会で、主要政策金利を現状の0.00%に据え置いたものの、預金ファシリティ金利(3つある政策金利の1つで金融機関がECBに預け入れる準備額の金利)を0.1%引き下げ、-0.5%としました。金利水準については「物価目標の達成がしっかりと見通せるまで現行金利水準もしくはより低い水準に据え置く」とフォワードガイダンス(将来の金融政策を約束する手法)の文言を修正し、低金利を据え置く具体的な期間(2020年半ば)を削除しました。また、新たな資産購入プログラム(月額200億ユーロ)の11月開始やマイナス金利深掘りによる影響緩和措置(金利階層化)の導入なども公表され、より一層緩和的な姿勢が示されました。記者会見でドラギ総裁は「ユーロ圏が景気後退に陥る可能性は低いものの、そのリスクは上昇している」との見解を示しました。
- 9月時点の経済見通しでは、2019年の実質GDP(域内総生産)成長率見通しを対前年比+1.1%とし前回見通し(6月)から0.1ポイント下方修正し、2020年見通しも同+1.2%と前回より0.2ポイント引き下げました。消費者物価(CPI)の見通しは2019年は対前年比+1.2%(前回は+1.3%)、2020年も同+1.0%(前回は+1.4%)とそれぞれ引き下げました。
- 8月30日に欧州連合統計局から発表された8月のユーロ圏の消費者物価指数(CPI)〈速報値：前年同月比〉は+1.0%、ECBが重視するエネルギー・食料・タバコ・アルコールを除く指数〈同〉も+0.9%と両指数とも7月と変わりませんでした。政策目標を下回る状態が続いています(図表1)。
- 7月失業率は7.5%(季節調整済み)となり前月(6月)と変わりませんでした。2008年以来の低水準で推移しており雇用環境は良好です。
- 市場では利下げは行われたものの、ドラギ総裁が「財政政策が主要な手段となるべきだ」との発言

図表1：ユーロ圏消費者物価指数(CPI)



図表2：ドイツ10年国債金利とユーロ・米ドル



出所) 図表1～2はブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

から金融政策効果の限界が意識されたものと思われる、欧州債券市場ではドイツ国債金利が一時低下しました。為替は上下に振れる展開となったものの、ユーロは対ドルで上昇しました(図表2)。直近では金融政策よりも、米中貿易摩擦問題などの政治問題を受けた投資家のリスクオン・オフの動きに、より市場が反応する傾向が強まっているものと思われます。今後更なる利下げを予想する見方もある中、ECBは難しい舵取りを迫られる状況は当面継続することが想定されます。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>